



## 稲垣ジュニアクラブが北日本バレーボールで優勝

第27回北日本小学生バレーボール稲垣大会が4月15日、稲垣体育館を主会場に開催され、東北各県からの強豪校が参加し、熱戦が繰り広げられました。

大会には男子9チーム、女子12チームが参加し、稲垣ジュニアクラブ（女子の部）が6年ぶりの優勝を果たしました。稲垣ジュニアクラブは予選リーグ、決勝リーグ準決勝を順当に勝利。大新（岩手）との決勝戦は両エースのスパイクの打ち合いで激しく競り合いましたが、持ち味の粘りのバレーで接戦を制し頂点に立ちました。

男子の稲垣少年クラブは3位の成績を修めました。



小泊戦でスパイクを打つ帯川樹さん（稲垣ジュニア）



交通安全の誓いを発表する館岡子供交通指導隊

## 交通ルールを守ります

春の全国交通安全運動（4月6日～15日）に合わせ、つがる市民交通事故防止総決起大会が4月6日、松の館で行われ、約200人が交通安全へ決意を新たにしました。

大会は、つがる地区交通安全協会と市交通安全母の会連合会が主催。つがる警察署の相馬完署長が「交通ルールを守れば事故は起こらない。皆で交通安全の模範を示し、思想を広めましょう」とあいさつすると、館岡子供交通指導隊と柴田子供交通指導隊が「事故のないつがる市にしましょう」と大きな声で呼び掛けました。その後、県警察音楽隊による吹奏楽演奏やカラーガード隊の華麗な演技が披露され、大会を盛り上げていました。

## 菰槌保育園児が交通安全呼び掛け

交通安全運動の一環として4月19日、菰槌保育園（大橋登美子園長）の園児21人が路上でドライバーに安全運転を訴えました。

園児たちは元気な声で「運転ごころうさま。安全運転をお願いします」と保護者や市赤十字奉仕団が製作した手作りマスコットをドライバーに手渡し、交通事故防止を呼び掛けました。マスコットには「おさけをのんたらうんてんしないで」などと園児の手書きメッセージが添えられ、受け取ったドライバーは「ありがとう」と笑顔でお礼を言っていました。



ドライバーに交通安全を呼び掛ける園児ら



一生懸命ごみを拾い集める参加者

## ごみのない美しい環境を

4月21日、西津軽土地改良区が主催するクリーンキャンペーンが行われ、25団体約300人が清掃活動に参加し環境美化に努めました。

開会式で増田教正理事長が「毎年継続することで水路のごみも減ってきています。ごみのないまちを目指し、身近なところから美しい環境をつくっていきましょう」とあいさつ。参加者は6班に分かれて、中の川、古田川、出精川の排水路沿いのごみを拾い集め、木くず、ナイロン、金属、ガラスの4種類に分別しながらごみを回収していました。



## 新たな学校生活が始まる 市内小中学校で入学式

市内小中学校で4月7日、9日、入学式が行われました。今年度、市内では小学校226人、中学校299人の新入生が新たな学校生活のスタートを切りました。

このうち、向陽小学校では、完成した新体育館で男子26人、女子22人の新入学児童を迎えました。小山内哲治校長、三戸靖史PTA会長の式辞に続き、新1年生代表の元山亮太君が「学校も体育館もとても広くてびっくりです。勉強や友達と遊ぶのを楽しみにしています」と大きな声であいさつ。全校児童で校歌を歌い新1年生を歓迎しました。また、市交通安全母の会連合会（花岡トキ会長）から黄色安全帽が贈られました。



元気に歌う向陽小学校の新入学児童



100歳を祝い贈られた花束を手にする成田スナさん

## 成田スナさん100歳長寿おめでとう

成田スナさん（富港町）が4月5日、満100歳を迎えられ、入院している五所川原市の尾野病院で長寿を祝いました。

スナさんは、明治45年牛瀧町生まれ。結婚後は農業と出稼ぎをして働き、2男7女の子どもをもうけ、孫は30人、ひ孫、やしゃごにも恵まれました。

この日は、次男の由治さん、孫の信彦さんと工藤満利さんがお祝いに駆け付け、松橋福祉部長が「お誕生日おめでとうございます」と顕彰状と花束を手渡すと、スナさんは「祝ってもらいありがたい。何でもおいしく食べられて元気です」と笑顔を見せました。

## 火災の発生防止を呼び掛ける

「消したはず 決めつけしないで もう一度」をスローガンに春の火災予防運動（4月9日～15日）のパレード出発式が4月9日、松の館駐車場で行われました。出発式には消防団員約70人、23台の消防車両が参加し、福島市長は「空気が乾燥し火災の発生しやすい時期を迎えることから、消防団長を中心として火災の対応に万全を期してください」とあいさつ。箱田鐵雄消防団長が「各地域に火災が起きないように地域住民との連携を密にして防災パトロールに努めてください」と訓示しました。

式終了後、団員は市内各地をパトロールし、火災発生予防を呼び掛けました。



出発式で訓示を述べる箱田団長



力強く宣言する神島君

## 市民一丸となって安全・安心のまちづくりを

春の安全・安心まちづくり推進大会が4月23日、松の館で開催され、防犯ボランティア団体や警察官ら約80人が、安心して暮らせるまちづくりを誓いました。この日は、防犯指導隊総隊長の手嶋成信さんが「地域住民や関係機関と連携しながら安全で安心して暮らせる地域社会の確立に取り組みます」と決意表明。JUMPチームを代表して神島嘉希君（木造高3年）が「万引き防止活動、自転車セーフティ・ツーロック運動、あいさつ運動を通じて非行防止に努めます」と宣言しました。大会終了後には、パトカーを先頭に自主防犯パトロール隊が青色回転灯を装着した車両で市内を巡回しました。